須磨学園のインターネット配信授業 1.0

SUMA GAKUEN

須磨学園のインターネット配信授業 1.0

目次

理事長・学園長方針　・・・・・・・・・・・・　P.2

マルチメディア部方針　・・・・・・・・・・・・　P.3, P.4

J１学年部方針　・・・・・・・・・・・・　P.5

J２学年部方針　・・・・・・・・・・・・　P.6

S１学年部方針　・・・・・・・・・・・・　P.7

S２学年部方針　・・・・・・・・・・・・　P.8

V１学年部方針　・・・・・・・・・・・・　P.9

V２学年部方針　・・・・・・・・・・・・　P.10

K１学年部方針　・・・・・・・・・・・・　P.11

K２学年部方針　・・・・・・・・・・・・　P.12

K３学年部方針　・・・・・・・・・・・・　P.13

掲載記事まとめ　・・・・・・・・・・・・　P.14,P.15, P16

SUMA GAKUEN

2020 年 4 月 13 日
須磨学園高等学校・中学校

須磨学園のインターネット配信授業 1.0

[理事長・学園長からの学校方針]

コロナウィルスによる感染症拡大の問題を受けて、これまで自治体やメディアにおいて「休校」というフレーズが多用されてきた。この言葉の蔓延によって、公立学校の教員の間には、「学校は休むべきである・休んでもよい」という認識が広まってしまったという側面は否定できない。

しかし須磨学園の考え方は全く違う。**「学校は歩みを止めてはならない」**これが我々の　姿勢である。「止まるべきではない」というこの姿勢は、報道局とも相通ずるところではないだろうか。須磨学園は、現在のような生徒が集えない不測の状況下においても、校内に　**「インターネット放送局」**を立ち上げ、様々なツールを活用して歩み続けていくことをここに宣言する。

[授業配信について]

1．授業配信ツールとして、主に YouTube、Stream(Office365)、Zoom、Teams・Forms(Office365)に、校内グループウェアである FC(First Class)を加えた 5 ツールを使用する。学年の状況に応じて、また使用場面に応じて、柔軟に使用ツールを組み合わせることによって、最適な配信と指導の精度を確保する。

2．9 つの学年(中学 3 学年―J1・J2・S1　/　高校一貫 3 学年―S2・V1・V2　/　高校入学 3 学年―K1・K2・K3）を各「インターネット放送局」(×9)とし、それぞれの授業配信についての方針(A4 ×1 程度・事前提出)をもとに、学年の状況に応じて最適な時程・　分量・内容の配信を行う。

3．インターネット授業における生徒とのやり取りや独自の取り組みなど、配信の詳細に　ついては、各放送局(学年)が柔軟に設定・対応を行うものとする。各学年間、また教員間で配信の状況を共有し、情報交換を積極的に行うことを奨励し、それぞれの配信精度の向上につなげるよう促す。

2020 年 4 月 13 日
マルチメディア部部長 中元正和

マルチメディア部　映像授業配信の方針

1．配信ソフト

YouTube、Zoom、Office365 Stream、Office365 Teams、E-Lectureの5つのサービスを駆使し、授業内容に応じた活用方法を各学年と連携する。

2．配信ソフト比較表

システム名	YouTube	Zoom	Office365 Stream	Office365 Teams	E-Lecture
LIVE 配信	○	○	△	○	○
オンデマンド	○	△	○	○	○
メリット	・無償サービス ・不特定多数のアクセスが可能、イベント向き ・汎用性が高い	・最大 500 名まで同時 LIVE 配信可能(各学年をカバー) ・一画面で最大 25 名まで参加者表示	・Office365 契約下により、追加費用無し ・2TB 強のテナント専用ストレージ	・教職員と生徒の両方が操作に慣れている ・最大 250 名まで同時 LIVE 配信可能 ・録画は Stream 自動保存	・スモールスタート(50 ユーザ同時アクセス)で 50,000 円/月 ・登録ユーザアカウントは無制限 ・簡易な操作性
デメリット	・教科書/映像/音楽が著作権に抵触する恐れあり	・脆弱性への危惧 ・録画は PC ローカルに保存される ・ユーザごとに 1GB のクラウドストレージしかない(有料版)	・LIVE 配信方法が不明瞭(Microsoft 確認中) ・ストレージが有限の為、各学年の割り振り計画が必要	・参加者多数だと画面が乱れる可能性あり ・K 各学年全員での利用は出来ない	・PowerPoint の直接投影不可(JPG か PDF)

３．工夫点

主に学年への後方支援。各学年にはマルチメディア部員を担当する教員が在籍しており、
Office365 Teams を利用して、配信ソフトの疑問点やノウハウ等の情報共有を図っている。
また、岡山大学との共同研究により、遠隔授業システムと連携するアプリの開発を進めている。
教員・生徒からのフィードバックを元に継続的にアップデートする予定。

４．注意点

共有した情報を学年へ再度連携し、教職員間の映像配信スキルがベースアップしているかの
チェックが必要となる。不慣れな教職員にはバックアップに努める。

SUMA GAKUEN

2020 年 4 月 13 日
J1 学年部長 尾崎雅博

J1学年　映像授業の方針

１．動画配信期間（～１１日）はYOUTUBE（まだ著作権がからまない、最もポピュラー）を利用して配信。１３日以降のWeb授業では、Office365のstreamを使用予定。

２．シラバスは別紙参照。今までの動画配信、当初２日間の時間割は以下に。

4/6月　第２回オリエンテーション → Formsで確認テスト
　　学年方針・行事予定・Web授業の概要・担任団紹介
4/7火　学校紹介① → Formsで確認テスト
　　通学路・購買部の紹介
4/8水　入学式/各クラスのクラス開き → FCメールを返信
4/9木　数学ガイダンス/理科ガイダンス → Formsで確認テスト
4/10金　学校紹介② → Formsで確認テスト
以下、予定
4/11土　制携帯利用ガイダンス→ Formsで確認テスト

	4月13日(月)	4月14日(火)
8:40～9:30	英語	国語
9:40～10:30	数学	社会
10:40～11:30	自学・課題	自学・課題
11:40～12:30	理科	数学
13:10～14:00	自学・課題	理科
14:10～15:00	LHR	自学・課題
15:10～16:00	LHR	LHR

３．工夫していること。
生徒に必ずレスポンスを返させること。こちらが、極力フィードバックすること。
見て楽しめる動画を取ること。
学力担保のために別経路でも課題を出すこと。
年度当初のクラス開き・自己紹介・交流等のステップを Web でどう置換するか。

４．注意していること。
危険性も多い Web 上でのルールをいかに守らせていくか。

2020 年 4 月 13 日
J2 学年部長 岡田大樹

J2 学年　映像授業の方針

(1)　1 日の流れ

8 時 30 分までに

・PMTM をクラス Teams の課題に提出　⇒　担任が確認し、コメントを付けて返却

・英数の課題を【クエスト】16 期生の Teams の課題に提出

⇒　教科担当が確認し、コメントを付けて返却

※　提出が滞る生徒に対しては、担当者から制携帯に連絡をし、状況を確認する。

8 時 30 分から

・クラスごとに Zoom を使って SHR を実施。

生徒は制服に着替え、制パソコンで参加する。担任が点呼を行い、生徒の顔を確認する。

点呼完了後、伝達事項を伝え、最後に休み時間代わりのフリータイムを設ける。

希望者が残り、生徒同士での会話を楽しんでいる。

9 時から

英数国理社の授業動画を Stream で公開し、動画の URL を 16 期生の Teams で案内する。

生徒は順次動画を見ながら学習をする。目安としては、午前中 3 時間、午後 2 時間の WEB 授業を受け、その後 2 時間分の課題に取り組む。

土曜日に次の週の WEB 授業の内容や課題をまとめた予定表を PDF にて送信している。

(2)　WEB 授業の工夫点

・動画の時間を 15 分～30 分に抑え、マンネリ化しないようにする。

・通常授業と同様に、雑談的な内容も加える。

・Stream の動画に Forms の確認テストを埋め込み、通常の授業同様に確認テストも行う。※確認テストの実施により、誰がいつ動画を見たかが把握できる。

・一方的な授業だけでなく、Zoom を用いた英会話の授業も計画中。

・各教科で質問対応の時間も設け、担当教員が Zoom にて対応をする。

(3)　生徒への注意点

・動画を見るだけではなく、ノートもとるように指示している。

・土日は学習整理の日とし、必要に応じて動画を見返し、復習に努めるように指示している。

2020 年 4 月 13 日
S1 学年部長 岡本睦功

Ｓ１学年　映像授業の方針

1.ソフト

・授業動画配信（月～金：５教科の動画、土：５教科の週末テスト）⇒office365 の stream
・毎朝朝礼（生徒の健康状態チェック、担任からの連絡、制服で参加）⇒Ｚｏｏｍ
・放課後に生徒からの教科の質問対応(実施予定)　⇒　Ｚｏｏｍ

2. 1 日の流れ

	内容	備考
8:30 まで	《Forms で体温を入力する》	
8:30～	《朝の SHR》 起床の確認、連絡事項の伝達	Zoom で実施 制服で参加
9:00 頃～	《5 教科の学習》 各教科の動画を見て学習を進める ※ 目安は午前に 2 教科、午後に 3 教科	毎日動画の URL を FC と Teams でアップ
16:00～頃	《課題に取り組む》 その日の課題を行う	英語・数学は課題を毎日 Teams で提出 他の教科の課題は休校明けにまとめて提出

3.工夫点

○ 週末テストの点数を教員が確認して必要に応じてメールや電話で学習のアドバイスを行う。
○ 以下の２つの動画を教科特性に応じて使い分けている。
　・パワポでスライドを作成してＯＢＳというソフトを使って音声を吹き込む形式
　・実際に授業をしている様子をビデオカメラで撮影する形式
○ 動画実施中にアンケートを行い、動画を見ている生徒が誰なのかをチェックする(実施予定)

4. 生徒への指示内容

○ １日の過ごし方や、その日に行ったことを写真で提出させている(PMTM の提出)。
○ 課題は取り組んだ後に写真を撮って、Teams のアサイメントで提出させている。
○ 週末には Forms を使って確認テストをして定着度を確認している。
○ 動画視聴後に取り組むべき１日あたりの課題を一覧表にして、生徒が見通しを持って学習を進められるようにしている。

2020 年 4 月 13 日
S2 学年部長 山本理貴

S2 学年　映像授業の方針

1．配信ソフト

・授業 … zoom(ライブ配信)、OneDrive(後日見るために保存)

・生徒・保護者への連絡 … FirstClass、Teams

2．配信項目・時間割

月日	配信内容
～4 月 7 日(火)	zoom 接続テスト マイクやカメラの調整
4 月 8 日(水)	入学式　…　YouTube でライブ配信
4 月 9 日(木)～4 月 13 日(月)	zoom で年度当初ガイダンス ・各教科から授業の進め方等を伝達
4 月 14 日(火)～	1 コマ 50 分授業・自学 1 時間目　HR・MA 2,4,6 時間目　zoom 授業　⇒　3,5,7 時間目　自学

3．工夫点

・生徒が各担任の zoom に接続することにより点呼しやすくしている。

・生徒が聞いているだけでは飽きてしまうので、ガイダンス等で「聞こえてたら手を挙げて」、「話すスピードが速すぎたら手を挙げて」など、生徒が反応する必要があることを挟んでいる。

・授業と自学を 1 セットとして扱うことで、授業を 15 分程度実施した後、zoom で質問受付けなどの個別指導・少人数指導の時間として活用できるようにしている。

・授業か自学の最後に確認テストを行う。採点結果は Teams 等でフィードバックし、再テストや課題も通常通り実施する。

・家庭のネット環境が不安定になって授業が途切れてしまった際の対処として授業を OneDrive(予定)に保存していく。

4．注意点など生徒への指示内容

・自主的に授業を受けることが大切であることを常に認識させている。

・授業を実施しているときはマイクを off にさせている。

　⇒　授業後はマイク on で質問等を受け付けられる状態にする。

2020 年 4 月 13 日
V1 学年部長 瀧本健作

Ｖ１学年　映像授業の方針

1.　使用ソフト

生徒・授業・課題の連絡は、”Microsoft Teams”。

https://products.office.com/ja-jp/microsoft-teams/group-chat-software

保護者連絡には、株式会社エフ・シー・マネジメント社の”First Class”。

https://www.fcm.co.jp/

授業配信・質問受け・個別指導は、”ZOOM ミーティング”、”Microsoft Stream”、”YouTube”。

https://zoom.us/jp-jp/meetings.html

https://products.office.com/ja-jp/microsoft-stream

https://www.youtube.com/?gl=JP&hl=ja

※　複数のソフトを、ソフトの長所・用途に応じて使い分ける。

2.　配信項目

現在は英・数・国・理・社の 5 教科を中心に配信。学年集会や教養総合科目(5 教科以外)は、随時配信。

3.　時間割

教務部に依頼し、午前中 8:30～12:30、午後 13:10～16:00 まで、7 時間目まで作成。いつもの学校と同じ時間割であることを重視。

4.　工夫点

1 回の授業は、視聴生徒の負担を考え、15 分～20 分で作成し、後の時間は確認テストの時間とする。授業内容の定着を深めるため、3 時間目(10:40～11:30)と 6 時間目(14:10～15:00)は、自習の時間とする。頭が冴えている朝の時間に数学、昼前に国語の授業を入れる。

5.　注意点など生徒への指示内容

毎朝、検温や健康状態などの健康観察結果、”Microsoft Teams” Assignments にて提出させる。1 日の計画や振り返りを記した TM・PM(ﾀｲﾑﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ・ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ)を、写真で提出。

毎回の授業の後には、確認テストを、同じく Assignments にて提出させ、各授業担当が定着度をチェックしている。

SUMA GAKUEN

2020 年 4 月 13 日

V2 学年部長 吉田泰明

Ｖ２学年　映像授業の方針

□ “学年の動き”は・・・

「学校は休まない」という姿勢のもと，登校して授業･講座を受けることができなくても，制携帯，FC，Office365 各種アプリを利用することで，学習をはじめとした取り組みを，
グローバル化こそされても，休むことなく続ける。

□ 生活への対応

体調管理につとめる。（最優先）

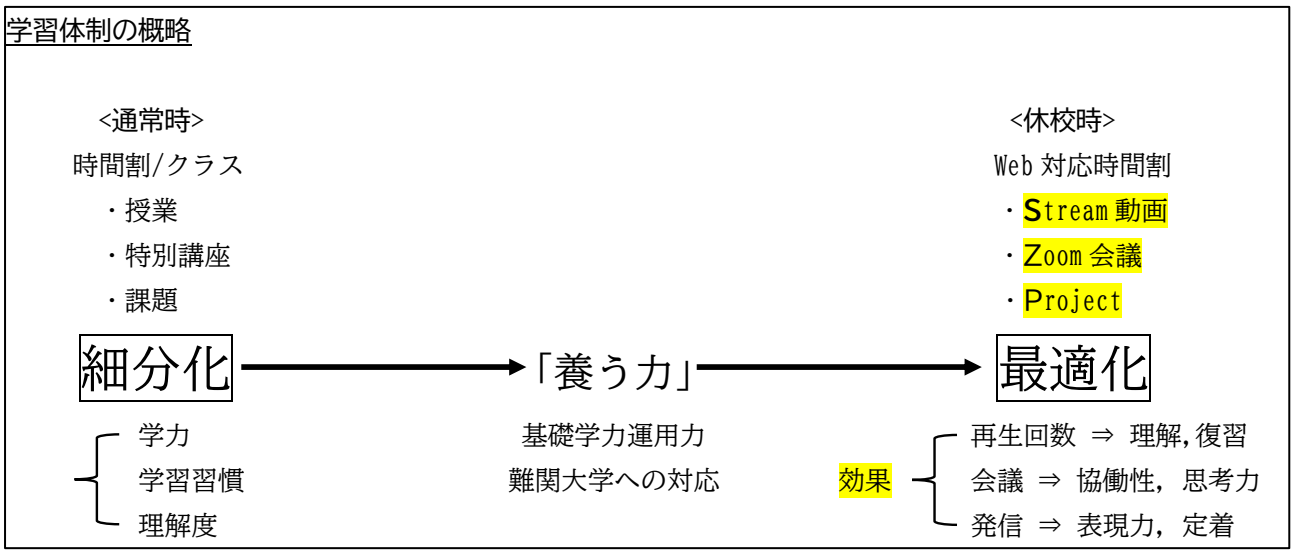
規則正しい生活での体調管理を目的として，日曜日と祝日以外は，毎朝８：３０までに，Formsによる朝･夜の体温報告，写メによる健康観察表とＰＭＴＭをそれぞれ送信させる。直ちに学年団教員が確認。必要であれば，追加の連絡なども行う。また，クラス毎のＨＲはZoom会議にて実施することで，face to faceでの対応も可能とする。

□ 学習への対応

健康なら，Web対応時間割とプロジェクト対応型家庭学習を実施する。

Web 対応時間割は，学校に登校して実施している授業時間割をそのまま各種コンテンツに置き換えてグローバル化するのではなく，根本から見直す。下記学習体制の概略における高校３年生として「養う力」，“基礎学力運用力”や“難関大学への対応”は，時間割やクラスに細分化されたものであるため，Web 対応時間割として最適化した。授業･講座名を一新し，Stream 動画，Zoom 会議，Project を駆使して取り組む。この最適化により，緊急時の臨時対応に留まらず，何度も動画を見直せるなど Web 特有の利点を活かしつつ，選択的に学習を進めることから，考えて学習する力を養うことで新たな学習効果を生み出すことを目指す。非常時だからこそできることに焦点を当て，通常時以上の結果を追求する。

学習体制の概略



2020 年 4 月 13 日
K1学年部長 山口哲

Ｋ１学年　映像授業の方針

1)　配信ソフト
・Zoomを使用
※ビデオカメラ・ハンディカム　音質向上のためオーディオインターフェイスを使用

２）配信項目　時間割
・4月9日～13日：本来行う予定だった校内各部ガイダンスの実施・授業ガイダンスの実施
→8:40～接続開始　8:50～配信の注意事項・9:00～各コンテンツ配信（詳細は別紙学年通信）。

・4月14日～　　：通常授業開始（本校教務部編成の時間割に基づき）
→8:40～SHR・朝学（終了9:30）　2時間目（9:40～）通常授業・以降1時間おきに授業・課題学習の繰り返し（詳細は別紙学年通信）。

３）工夫点
・音質の向上に工夫（生徒に対する実施アンケートによると、一番低い評価が音質）。
→オーディオインターフェィスを使用し、音質向上に成功。
・Zoomを500人参加できるよう手続き。
・何回にもわたる予行演習・実験実施。
例）配信中も教員のデバイスからアクセス→常に配信状況をチェック。
・配信連絡をこまめに実施
例）学年通信（PDF）の送信、Teamsやファーストクラスを活用した案内。

４）注意点など生徒への指示内容
・ライブ配信を見ることができない生徒への対応
→入学直後のため、生徒のデバイスが統一されていないため、ライブ配信内容の動画を配信実施後案内。動画を見ることができないネット環境の場合も見据え、配信内容をPDFにまとめ、送信。
上級生＝制携帯所持。新入生＝4月15日より所持。
・制服着用（通常の授業としての意識付け）
・ライブの最後に午後の課題を案内
→Teamsを活用し、チャット形式で課題の取り組みに対する質問に対応

2020 年 4 月 13 日
K2 学年部長 碓井学

K２学年　映像授業の方針

■配信の目的

〇休校となっても出来る限り通常通りの授業を行い、生徒の学力維持向上および学習へのモチベーション維持に努める

〇ホームルームなどで双方向にやり取りし、生徒の生活及び学習管理を行う

〇各自の学習、課題研究などの状況を把握し手厚くサポートすることで、休校にともなう生徒及び保護者の不安を軽減する

■使用媒体・機器

媒体…microsoft stream(office 365)及び zoom

Live 授業は zoom 等を使用、学校仕様のスマートフォン(いわゆる制携帯)またはビデオカメラで撮影した動画を配信。(zoom のセキュリティに関してはパスワード厳重管理により対応。現状不具合はない様子。)授業後は stream にて配信、復習等に活用させる。ビデオカメラであらかじめ録画したものを stream にて公開する方法も併用している。

機器…ビデオカメラとパソコンおよび制携帯

■工夫点

学校での日常の活動を、可能な限り家庭で行えるように様々な配信を行っている。映像授業に加え、朝と授業後のホームルーム、朝と夕方の英単語と国語の小テスト、数学の一日一課題プリント等を配信し、全員に取り組ませている。可能な限り学校にいるのと同様の活動をし、生徒の生活ペースの維持にも役立てている。またホームルームで「ジャンケン」をするなど楽しめる要素も取り入れ、コミュニケーションをはかっている。(毎回「勝ちました」「あいこでした」「次は勝ちます」とコメントを寄せるなど、生徒も楽しんでいる様子)

教員・生徒ともに機器の扱いに不慣れでうまく視聴できていないこともあるため、不具合があったときに質問ができるチャネルを microsoft teams に設置し、活用している。

今後は教員が配信ツールの扱いに慣れてきたため、クラスごとの活動を増やし、生徒とのコミュニケーションを深めたい。

■生徒への指示

制携帯は画面が小さく見づらい。板書が見えないなどの不具合がパソコン(制パソコン)を利用するよう指示している。また、学校にいるのと同じ気持ちで取り組むこと、教員から直接姿を見ることができない分、それぞれが強い意志を持って取り組むことが重要であることを日々の取り組みの中で繰り返し伝えている。

■映像配信項目及び時間割

現状は英・数・国・理・社、ホームルーム、PMTM(時間及び目標管理術)指導を配信

時間割は別紙添付

SUMA GAKUEN

2020 年 4 月 13 日

K3 学年部長 多田鉄人

K３学年　映像授業の方針

1. 映像配信に主として使用しているソフト：Zoom
   映像配信に副として使用しているソフト：Microsoft「Stream」、YouTube
   生徒通信に主として使用しているソフト：Office365「Teams」

2. 配信項目・時間割　4 月 13 日（月）～4 月 18 日（土）
   （下記表は 4 月 9 日(木)の例）

● 4月8日 ～ 4月11日　映像授業時間割＜確定版＞

	K3-1 40 濱本・久永 771-872-8455	K3-2 30 雪本 674-221-4651	K3-3文 17 辻本 同右	K3-3理 19 辻本 219-429-7832	K3-4 42 稲葉 452-586-5295	K3-5 45 木村 727-613-8861	K3-6 41 小川 564-905-1776	K3-7 50 小泉 898-412-7639
4/09木1	コミ英Ⅲ 40 辻野 465-088-5367	古典B 30 三谷 849-035-3958	古典B 17 三谷 849-035-3958	古典B 19 三谷 849-035-3958	現文B 42 辻本 219-429-7832	英表Ⅱ 45 村住 621-319-4529	現文B 41 辻本 219-429-7832	英表Ⅱ 50 村住 621-319-4529
4/09木2	世B 11月29日 小川／高井 564-905-1776／955-677-5257	IIgⅠA 6／24 多田／川崎 253-923-2252／352-800-5419	ⅠA 17 川崎 352-800-5419	IIgⅠA 4／15 多田／川崎 253-923-2252／352-800-5419	IIgⅠA 28／14 多田／川崎 253-923-2252／352-800-5419	ⅠA 45 川崎 352-800-5419	数学IIg 41 稲葉 452-586-5295	数学IIg 50 稲葉 452-586-5295
4/09木3	自講U 40 濱本・久永 771-872-8455	自講U 30 雪本 674-221-4651	自講U 17 辻本 同右	自講U 19 辻本 219-429-7832	自講U 42 稲葉 452-586-5295	自講U 45 木村 727-613-8861	自講U 41 小川 564-905-1776	自講U 50 小泉 898-412-7639
4/09木4	世B生演 11／24／3 小川／木村／小泉 564-905-1776／727-613-8861／898-412-7639	地理B 30 雪本 674-221-4651	生演 17 小泉 898-412-7639	地理B 19 雪本 674-221-4651	地理B 42 雪本 674-221-4651	生演 45 小泉 898-412-7639	英表Ⅱ 41 山崎 286-292-1843	化学 50 楠本 565-590-4702
4/09木5	現文B 40 辻本 219-429-7832	化学 30 楠本 565-590-4702	世B 6／11 小川／木村 564-905-1776／727-613-8861	化学 19 楠本 565-590-4702	英表Ⅱ 42 山崎 286-292-1843	世B 26／19 小川／木村 564-905-1776／727-613-8861	世地 4／37 小川／雪本 564-905-1776／674-221-4651	世地 6／44 小川／雪本 564-905-1776／674-221-4651
4/09木6	自習 次の授業の クラスに入る 545-833-7792	自習 次の授業の クラスに入る 465-088-5367	自習 次の授業の クラスに入る 219-429-7832	自習 次の授業の クラスに入る 219-429-7832	自習 次の授業の クラスに入る 849-035-3958	自習 次の授業の クラスに入る 816-617-0250	自習 次の授業の クラスに入る 849-035-3958	自習 次の授業の クラスに入る 816-617-0250
4/09木7	英演 40 畑中 545-833-7792	コミ英Ⅲ 30 辻野 465-088-5367	現文B 17 辻本 219-429-7832	現文B 19 辻本 219-429-7832	古典B 42 三谷 849-035-3958	コミ英Ⅱ 45 千田 816-617-0250	古典B 41 三谷 849-035-3958	コミ英Ⅱ 50 千田 816-617-0250

3. 工夫点
   ●教室の間に合わせセッティング（どの教室も同じ配置）
   ●原則、教員手持ちの制スマホのみで行える（特殊な装備を要しない）
   →手持ちの PC を併用すればさらに快適に行える
   ●毎授業で点呼（呼名して返事）することでコミュニケーションをとる
   →通信に不備がないかを確認する

4. 注意点など生徒への指示内容
   ●5 分前からミーティングに参加
   ●基本はミュート
   ●普段の授業通り、集中して受ける

SUMA GAKUEN

以上

メディア掲載

○4 月 9 日（水）神戸新聞　朝刊

ネット動画で入学式 須磨学園中・高

ライブ配信 新入生ら600人視聴

オンラインで行われた須磨学園中学の入学式＝須磨区板宿町3

須磨学園中学・高校（須磨区板宿町3）は8日、新型コロナウイルス感染防止のため、入学式をインターネットによるオンラインで実施した。理事長の式辞や入学宣誓が動画投稿サイトでライブ配信され、中高の約600人の新入生と保護者らが視聴した。

同校は3月3日から休校していたが、「学びに個人差がでないように」と4月6日から再開。入学式や5月6日までの授業はオンラインで行い、課題や個別の連絡にもパソコンなどを活用することにした。

会場には撮影機材が用意され、桜を飾った演台に、西泰子理事長(62)が登壇。「皆さんの健康を守り、メールや動画などあらゆる手段でやりとりしていく。困難を共有し乗り切っていきましょう」と語り掛けた。

中学の新入生代表の阪本七海さん(12)は「今この瞬間が恵まれていると自覚を持ち、一日一日を大切に精いっぱい取り組みたい」と宣誓した。

同学園が運営する夙川中学・高校（兵庫区）もこの日、オンラインで入学式を行った。

（小谷千穂）

メディア掲載

○4 月 14 日（火）　読売新聞　夕刊

生徒のいない教室でパソコンを前に授業する教員＝ビデオ会議システムで、パソコン画面に表示された生徒の顔（いずれも神戸市須磨区の須磨学園中高で）＝長谷真也撮影

コロナで休校

学ぶ習慣 ネットでつなぐ

遠隔授業や教材配信

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて緊急事態宣言が出された大阪や兵庫では、小中学校、高校の臨時休校が5月6日まで続く。身体みを挟んで2か月以上になることから、学習のリズムが崩れないよう、各校や教育委員会はインターネットによる遠隔授業や教材配信などの対策に知恵を絞る。

「分かったら反応してな、大丈夫かなあ？」。英語の文法を説明した女性教諭の呼びかけに、パソコン画面に表示された生徒たちが一斉にうなずいた。

3月3日から休校している須磨学園中高（神戸市）は4月9日、インターネット配信で授業を始めた。主に使うのは、ビデオ会議システム「Zoom（ズーム）」。教員と生徒が画面を通じて互いの様子を見られ、会話もできる。

もともと情報通信技術（ICT）の活用に力を入れており、生徒全員にスマートフォンやタブレット端末を持たせている。それぞれが自宅で動画の受信が可能なことを確認し、遠隔授業をスタート。うまく受信できない生徒には、教員が電話でサポートする。同高の堀井雅幸校長は「『学びを止めない』を合言葉に、教員総出で準備した。教科に応じてソフトを使い分けるなど工夫したい」と話す。

近畿大付属高（大阪府東大阪市）も、生徒全員にタブレット端末を配備。毎朝、ズームによるホームルームで生徒の表情などを確認し、ネットで教材を配信する。

大阪府立高津高（大阪市）は教員から生徒へのメッセージや質問用、解説動画などを、学校のウェブサイトを経由して見られるようにした。10日から時間割を組み、毎日教材を配信。小テストもネットで提出させる。佐藤田真一教頭は「学習習慣を保つには、時間を決めて生活することが大切」とする。

◇

文部科学省は10日、ネット配信したり、郵送したりした教材での学習について、成績評価に反映する特例措置が可能だと、全国の教育委員会に通知。柔軟な対応を求めている。

大阪府寝屋川市教委は小学1～3年向けの国語と算数の動画をネットで公開する。小学4年～中学3年は民間事業者のオンライン学習サービスを利用できるようにした。

大阪市教委は小学4年～中学3年の算数・数学、外国語活動・英語の授業1回分の内容を10分程度でまとめた動画をつくり、20日に動画投稿サイト「ユーチューブ」で公開する予定だ。

ネット環境が整っている家庭ばかりではないため、市教委は「あくまで補助的な学習の手立て」と位置づける。各小中学校がプリント教材を作って全員に配布することにしており、動画が見られなくても遅れは生じないという。

専門教育大大学院の笠原健二特命教授（学校教育学）の話「ビデオ会議システムは資料を示したり学生同士で議論したりすることが可能で、対面授業に近い効果がある。授業的に気をつけなければならない点はあるが、機材がある学校は積極的に活用すべきだ。録画した授業の配信なら難しくはなく、公立校もできることから試してみてほしい」

メディア掲載

〇4 月 16 日（木）

NHK　ニュースほっと関西（18：10～）

NHK　Live　Love ひょうご（18：30～）

本校のインターネット配信授業の内容を放映